

神戸宣言に対する 日本伸銅協会の取組みについて

製造業安全対策官民協議会

2023年3月10日

一般社団法人 日本伸銅協会

日本伸銅協会 2022年度事業方針(抜粋)

(1) 安全衛生関係(コロナ関連を含む)

各社無災害への取組みを支援するため、安全委員会や地区安全活動を継続推進するとともに、経産省等が主導する製造業安全対策官民協議会に参画し情報収集に努める。

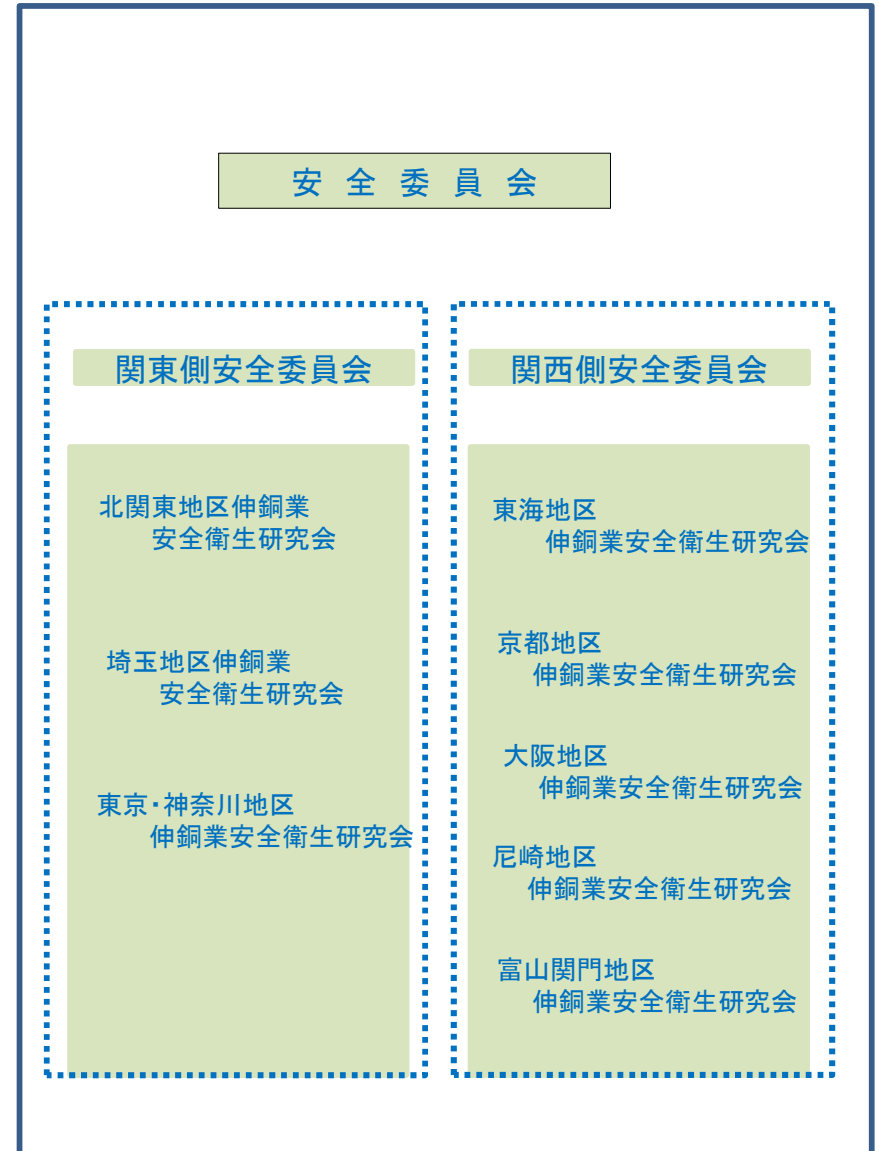
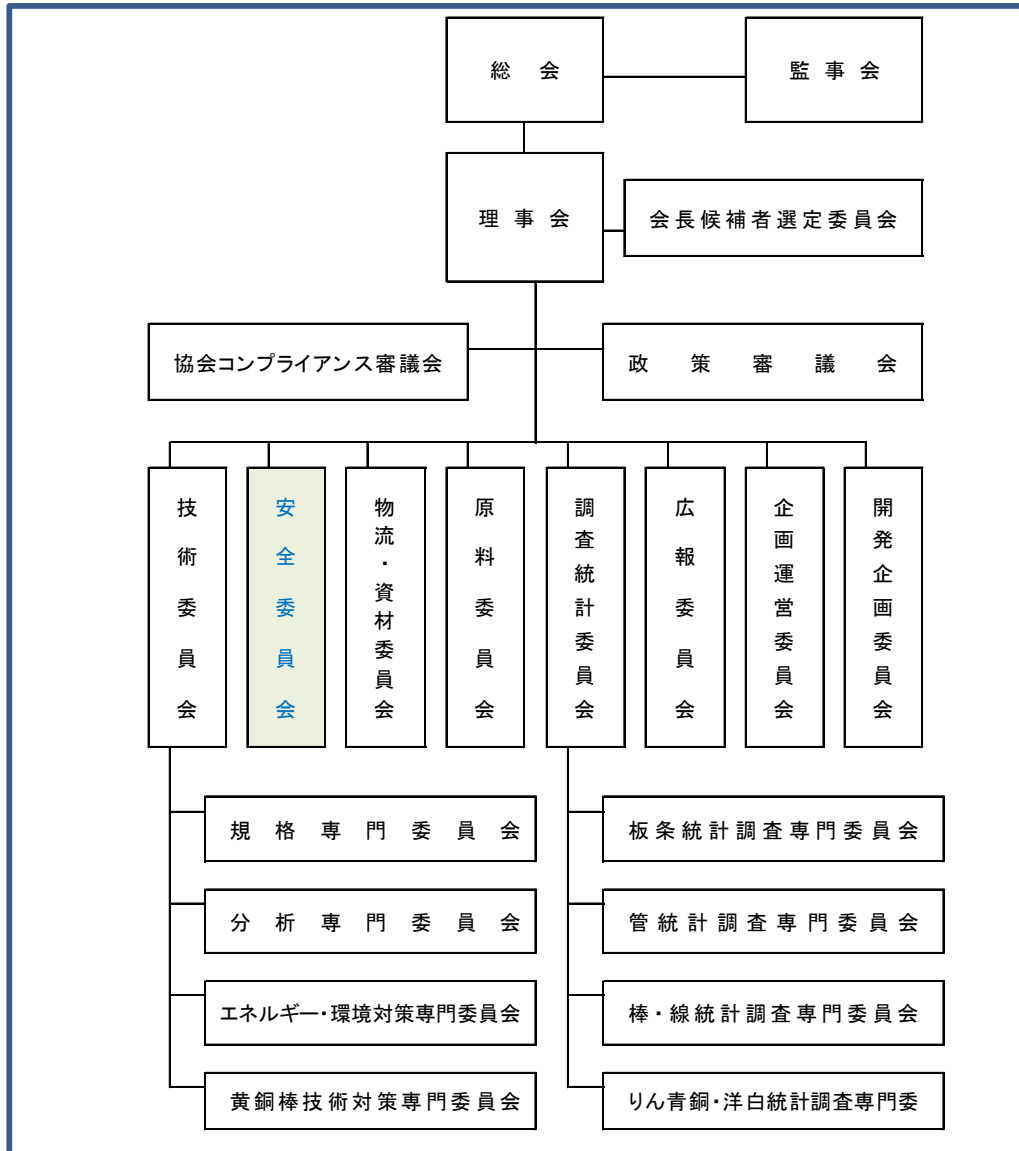


神戸宣言「4つの経営理念」

- 一、経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
- 二、設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進
- 三、ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充
→ 年間安全衛生推進計画 に織り込み(各社展開)
- 四、重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有
→ 安全委員会にて課題として取組みを推進

1-2. 日本伸銅協会の概要

1948年4月 任意団体として発足(2010年5月一般社団法人化)
 会員社数 40社 対象事業所(伸銅業関連のみ 47事業所) (2023年3月現在)
 安全委員会では東西2地区で委員会を開催、年1回合同委員会で次年度計画を策定している



安全委員会(事業所地域別に東西2地区で委員会を組織)

- ・年間安全推進計画の策定、実施
- ・伸銅業における安全に関する統計情報の収集、とりまとめ
- ・労働災害撲滅に向けた研修
- ・会員への情報提供
- ・災害事例の収集や情報
- ・異業種における安全に関する情報の共有他
- ・安全交流会の実施(地区ごとに開催)

理事会(年4回)

- ・安全成績報告
- ・安全に関する意見交換会や講演の実施
- ・その他関係情報の展開など

定時総会(年1回)

- ・安全事業所の表彰

その他

1-4.2022年の実施計画状況

2022年 実施計画 及び 実績

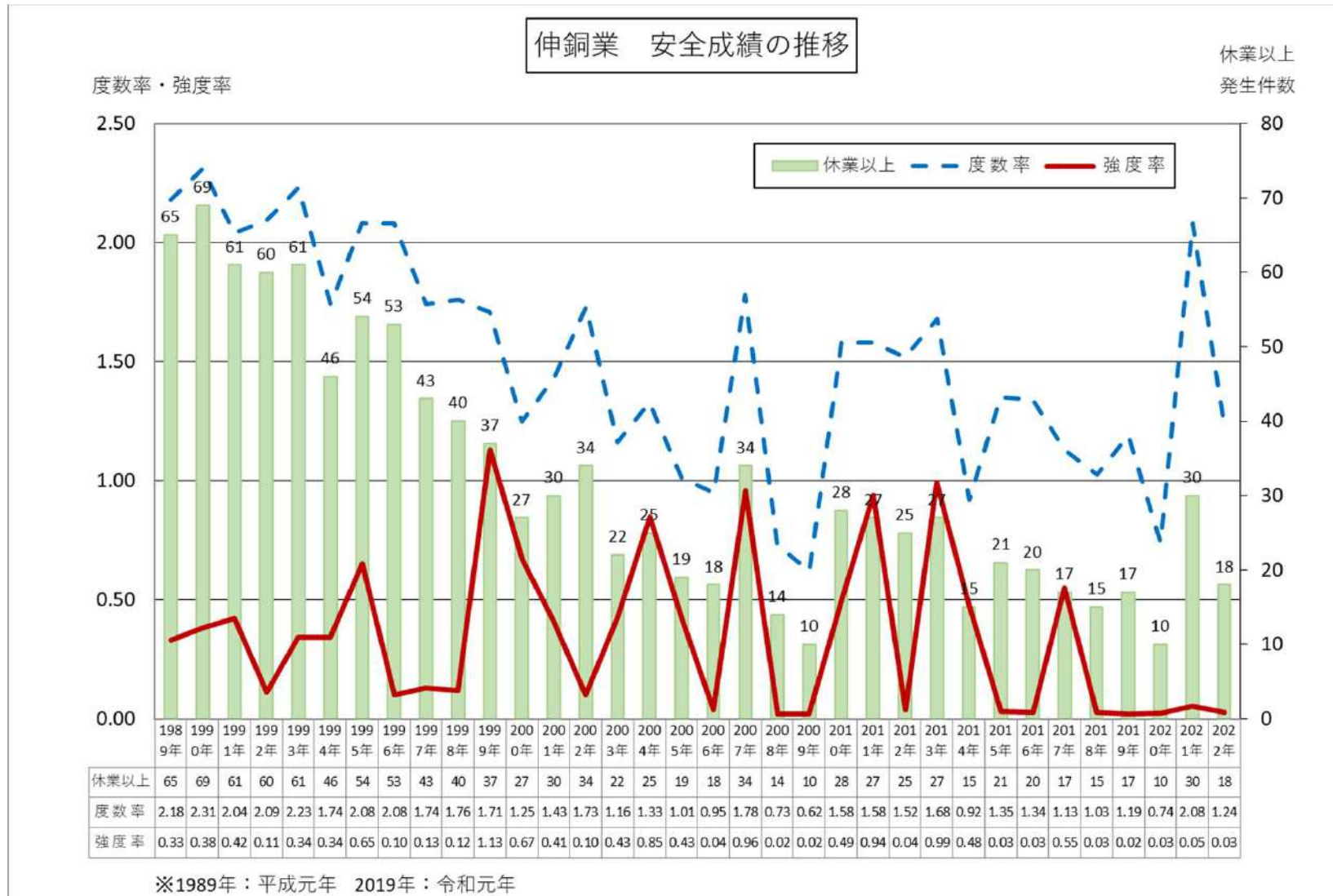
(一社) 日本伸銅協会

項目	内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備考	神戸宣言
製造業安全対策官民協議会	・協議会への参画	←										→		2022年3月度臨時総会にて承認済	一、二、三
	・神戸宣言の取組	←											→		
安全委員会	・労働災害統計（毎月）	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	○	○	○		三、四
・関東側安全委員会	・災害事例報告		●実施		●実施				●実施			○			
・関西側安全委員会	・活動計画と実施	●実施					●実施								
・東西合同安全委員会	・各種情報の共有				●実施									※関東・関西側委員長が交互に就任	
災害事例集	1回/年更新										○			会員限定ホームページへ掲示	
地区研究大会							○2月 延期			●実施		○		KYT研修会→2023年4月開催 安全衛生研修会→2023年2月開催	
工場見学会	安全取組の研修、見学の実施					○WEB 開催								10月：→WEB開催へ変更 (関東側委員会社の改善事例報告)	一、二、三
安全優良事業場表彰	・特別安全表彰 ・年間無災害表彰 (年間完全無災害営業所)												○	表彰式：定時総会にて実施	
安全標語		●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施	○	○	○	9月：会員従業員からの公募	
安全クイズ											○				
理事会	・実績報告				●実施		●実施				○		○		
	・講演等										○				

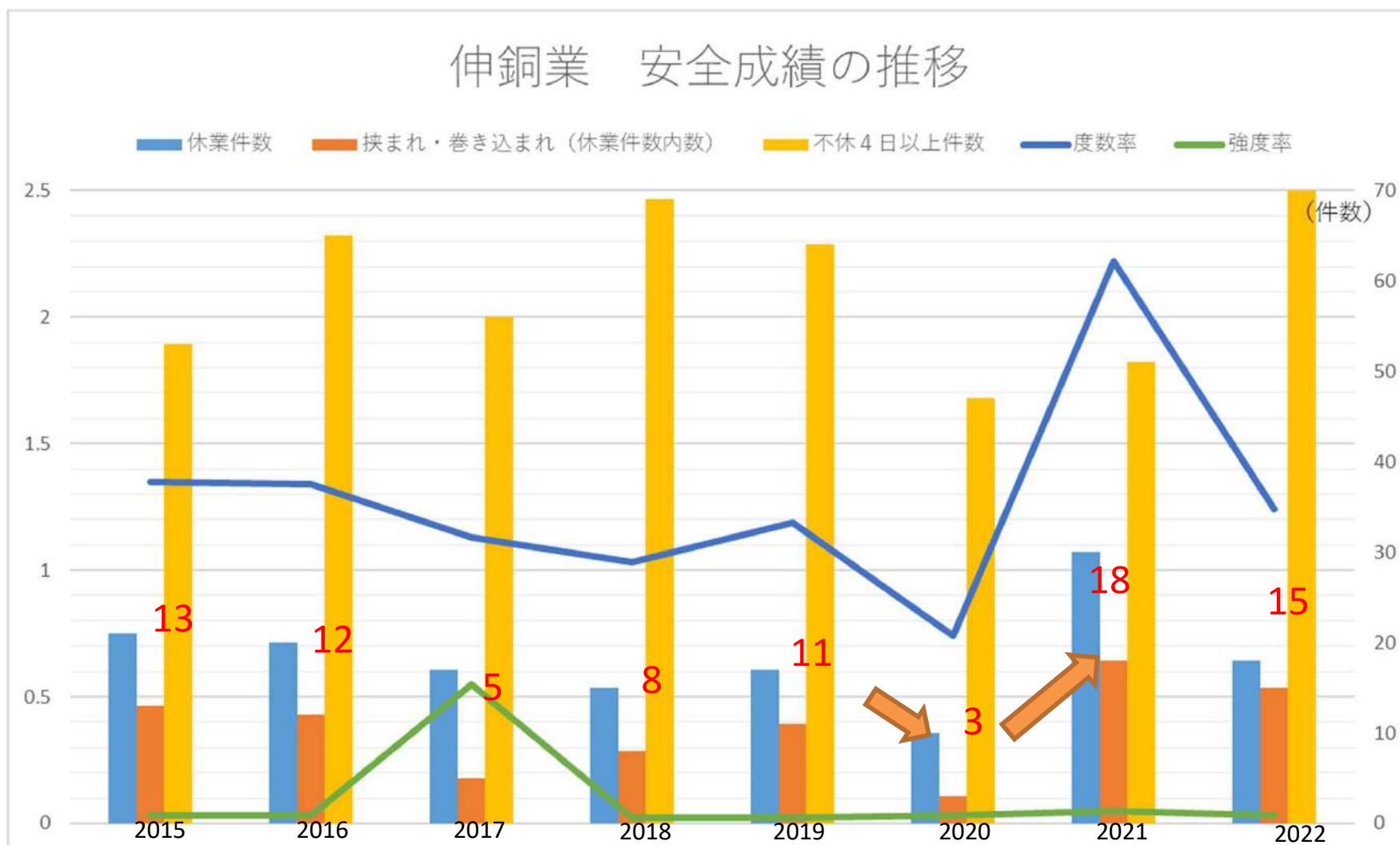
※上記内容は、毎年暦年で策定している年間安全衛生推進計画を踏まえた内容を一部抜粋の上記載。

2-1. 安全成績の状況（1989～2022年）

伸銅業の休業以上の災害件数は1990年代後半以降減少の傾向にあるが、2桁台を推移



2020暦年をボトムとして、伸銅品の生産は持ち直しつつある中、依然として挟まれ、巻き込まれが大きなウエイトを占めており、引き続き重点項目として継続中



災害減少にむけ、適宜情報の横展開を実施、
 休業4日以上^①の災害は情報を委員会ルートでメール共有
 (会員事業所内での注意喚起や安全点検等にも展開)
 安全委員会においても情報を基に意見交換、討議に活用中

2021年度休業災害の発生事例^①

巻き込まれ・はさまれ休業 休業4日以上^①

No. ^②	発生日時 ^③	被災者年齢 ^④ (経験) ^⑤	事象の状況 ^⑥
1 ^⑦	1月×日 ^⑧ 14:10 ^⑨	4×歳 ^⑩ (11ヶ月) ^⑪	ロール研磨を終了し、両手で中間ロールを取り出そうとした際、右手第2指が回転していた寶石に接触し、受傷した。 ^⑫ [右手第2指開放骨折、腱損傷、皮膚欠損] ^⑬
2 ^⑭	1月×日 ^⑮ 22:30頃 ^⑯	5×歳 ^⑰ (2年) ^⑱	加工前の製品コイルを、フックを使用し、クレーンにて吊り上げ移送した後、置き位置に着地すべく下降させていた。その際、Cフックのハンドル部 ^⑲ が洗浄設備内のビニールに引っかかりCフックが巻き製品コイルが落下。被災者は逃げ遅れ足元材料の下敷きとなり受傷した。製品は鉄芯を含み約2,500kg。 ^⑳ [右足前部、左足指開放骨折・デグロービング損傷] ^㉑
3 ^㉒	3月×日 ^㉓ 11:30 ^㉔	2×歳 ^㉕ (4年) ^㉖	材料を切断後にローラーで横にある自動面取機に供給する作業中に、自動面取機に材料を供給する際の昇降機シリンダー部に材料が吸まった為、昇降機が上がらず停止した。 ^㉗ 機械を自動から手動に切り替えずに、手を入れて材料を取り出した為、昇降機が上がリシリンダー部に引っ掛かり右手が逆張り受傷した。 ^㉘ [右手 打撲] ^㉙
4 ^㉚	3月×日 ^㉛ 13:35 ^㉜	4×歳 ^㉝ (15年) ^㉞	天井クレーンを用いて酸洗浄ライン投入側リフター上に鋼板が乗ったパレット(総重量約2トン)を2段積みで配置した。天井クレーンを工場中央へ戻した後、材料が載ったリフターをフットペダルで上げようとしたところ、誤って下段側ペダルを踏んでしまい、2段積みの上段パレットの端部が材料投入用コルベアの端部へ引っ掛かり、上段の鋼板が割壊し、その下敷きになり被災した。 ^㉟ [鼻、膝下、踵 脳内出血、骨折] ^㊱
5 ^㊲	4月×日 ^㊳ 17:10 ^㊴	5×歳 ^㊵ (31年) ^㊶	現場でコイル状の製品の外周を巻き取る幅18mの鋼巻の巻(1束20~30kg)が14束重なって斜めに傾いており、垂直に14束の帯を2名で人力により起こし上げようとした際、途中で帯が倒れてきて支えていた手が帯と帯を納めている支柱の柱に探され受傷した。 ^㊷

労働者死傷病報告

81001

災害報告速報

(社内資料)

年1回東西合同での会合(年1回秋)を開催し、次年度方針の決定、安全交流会、意見交換会等を実施(会員事業所で開催。コロナ禍では足元WEBで開催)

◆東西合同安全委員会 2022年10月11日(WEB)
主な議題(2022年事例)・・・コロナ禍によりWEB開催

2022年度安全標語優秀作品の最終選考

2023年上期(1~6月)安全成績報告

2023年度安全衛生推進計画の策定

①年間重点方針と最重点実施事項

②年間安全衛生推進計画(目標・その他)

③年間スローガン

製造業安全対策官民協議会について

◆安全交流会 2022年10月11日(WEB)(同時開催)
(事業所での見学会にかえて開催)

各事業所における安全取組みについての発表/質疑応答

テーマ① リフトの安全

テーマ② フォークリフト運行における安全対策

テーマ③ 『まず、止める』S.O.S活動(Shut Off Switch)

年間スローガン・月間スローガンを募集し、ポスター化し会員事業所へ配布
(11月は会員全従業員応募の作品より最優秀賞作品を採用)

・年間スローガン

・月間スローガン

1-2月

3-4月

5-6月

7-8月

9-10月(厚労省スローガン)

11月(安全標語募集最優秀賞を決定)

12月



二〇一三年「はさまれ・まきこまれ要因の低減」

まず停止

指差し確認

ゼロ災職場

日本伸銅協会安全委員会



教育訓練月間(3~4月)

ルールと手順 正しく理解し 守れる文化

みんなで築こうゼロ災職場

日本伸銅協会安全委員会

関東側・関西側の地区安全研究会の活動として実施
2023年より実開催による研修を再開

関西側地区合同安全衛生大会(安全体感研修) 大阪府
(2023年2月実施) (会員限定対応)

【研修プログラム(3時間)】

- 導入教育
- 体感研修
 - 高所作業・墜落衝撃安全体感
 - サンドバッグ・土嚢落下衝撃体感
 - 脚立・梯子安全体感
 - 玉掛作業安全体感
 - (挟まれ、2t荷振れ)
 - 高所3点支持安全体感
 - 回転体巻き込み安全体感
 - Vベルト巻き込み安全体感
- 相互意見交換

関東側地区合同安全衛生大会(KYT研修) 東京都
(2023年4月開催予定) (中災防ゼロ災推進部より講師派遣)

全会員対象に安全クイズを実施(毎年2月に実施)
安全意識を高めることを目的に継続して実施

2022年応募者数
4,063名
(正解率 90.4%)

解答しやすいクイズで参加しやすく、より身近に安全意識を高めることを目的に実施

正解者には抽選でクオカードを贈呈

日本伸銅協会 2022年度安全クイズ

日本伸銅協会 2023年度安全クイズ

一般社団法人 日本伸銅協会では、毎年その年の年間安全衛生推進計画 重点方針に基づき、各種の運動を展開いたしますが、その一環として安全クイズを実施いたします。正解者の中から抽選により当選者に賞品を差し上げますので、盛って応募ください。みなさまのご応募をお待ちしております。

※、2023年の年間安全スローガンは「まず停止 指差し確認 ゼロ災職場」です。安全スローガンの実践をお願いします。

※注意：この票は、抽選事務局の定額封筒に限り、1人1点とします。クイズの応募に関するお問合せはお断りします。

問題1 右の旗の色は何色でしょうか？ 答えは()

選択項目 安全旗 労働衛生旗 安全衛生旗

問題2 ()があなたの仕事の最優先。

選択項目 品質 安全 効率

問題3 困ったときには「報・連・相」をするが、選ばれ何を意味しているか？ 答えは()

選択項目 報告 連絡 連絡

問題4 ホイスト、クレーン使用時に異常を感じた場合、どのように対応することが正しいでしょうか？(異常が発生した時の対応)の正解は？ 答えは()

選択項目 そのまま作業が終わるまで使用を継続する 自身の責任になるのはいやだからそのまま放棄する すぐに使用を中止し上司に報告する

問題5 ()は一呼吸器具、確認を怠りなく行うツールである。

選択項目 指差し確認 リスクアセスメント KY活動

【回答欄】

問 題	問題1	問題2	問題3	問題4	問題5
回 答					

会 社 名 _____

事 業 所 名 _____

お の が な 氏 名 _____

画 重点方針に基づき、いたします。正解者のせい、みなさまのご応募を

安全だ！

安全第一

未来へつなぐ安全職場！

健康管理！

けよう！

防止することが重要と工夫が大切である。

確認してもおかしくない

問題5



協会表彰（安全優良事業所表彰）年間(暦年)の成績にもとづき、5月度定時総会にて表彰を実施

- 年間完全無災害事業所：年間を通じて完全無災害（不休災害を含む）を継続した事業所。
- 年間進歩事業所：前年度及びその年度に休業災害が発生せず、しかも不休災害が前年より50%以上減少した事業所。
- 特別表彰：安全成績並びに安全面に関して特に貢献があったと認められる事業所で、下記条件に該当する事業所
 - ①完全無災害を3年間継続した事業所。以後、3年毎に表彰する。
 - ②同業種（非鉄金属同合金圧延業）の最長無災害記録達成事業所。
 - ③労働大臣賞受賞事業所。
 - ④その他、安全面に関する考案、改善等に特に貢献があったと認められる事業所（個人は除く）。



一般向けの日本伸銅協会ホームページに KYTシート集を掲載
 会員問わず広く安全啓蒙に寄与できるよう情報提供

セキュリティ保護なし | copper-brass.gr.jp/safety/kyt

環境・安全
 伸銅品のSDS
 環境だより
 安全だより
 KYTシート集

賛助会員の入会手続きはこちらへ
 入会申込

検索

伸銅業のKYTシート集改訂

伸銅業の危険予知訓練シート集 (目次)

作業 分類	作業 区分
I	原料受入作業
II	原料配合・溶解・鋳造作業
III	圧延作業
	9 コイル送り作業(I)
	10 コイル送り作業(II)

III 圧延作業 → 危険予知訓練シート目次へ

ロール表面の拭取り

どんな危険がひそんでいるか



状況

あなたは、ロールの表面の清掃(拭取り)作業を

危険のヒント

前のページにもど

状況

あなたは、ロールの表面の清掃(拭取り)作業をしている。

危険のヒント

- 拭き取る時の姿勢が悪いので、電源が入ったときに手が巻き込まれる。
- 手元が滑り、顔をロールにぶつける。
- 手元が滑り、下肢を機械にぶつけ打撲する。
- 身体とロールの間が遠いので、背を伸ばしたときに腰を痛める。
- 電源スイッチを入れて自動運転中、回転しているロールに手を巻き込まれる。
- 身体が前に傾いて作業しているため、バランスを失い、前に倒れて顔がロールに当たる。
- 共同作業者が誤って電源スイッチを入れたとき、急にロールが回転して手が巻き込まれる。
- ウエスを持っている手に力が入りすぎ、バランスを崩してロールに身体が当たり打撲する。

<http://copper-brass.gr.jp/safety/kyt>

1. 会員事業所における対応(相互情報交流)

ソーシャルディスタンスの確保
マスク着用・咳エチケット
手洗い・手指消毒
換気
3蜜の回避
食堂での黙食
場内の含めたWeb会議の実施
作業服通勤(ロッカーでの感染予防)
テレワーク、時差通勤、ローテーション勤務
会議室等のパーテーション設置 等

2. 協会行事における対応

各種会議体のハイブリッド対応
アクリルパーテーションの設置、会議室定員数の減
各種感染対策の対応 他

- ・神戸宣言での4つの理念を礎に、委員会活動や理事会などを通じ基本に基づいた安全活動を継続

(年間安全推進計画の策定・実施、安全交流会、表彰、安全研修、啓蒙活動(安全スローガン、安全クイズ)等)

- ・官民協議会の活動で得られた成果物などの活用も踏まえ、業界の安全レベルの底上げへの継続的取り組み

- ・重点事項(はさまれ・まきこまれ災害低減) 対策の検討
(官民協議会の活動を通じ、伸銅業の特性を再認識)

- ・業界内での情報共有の強化
会員内災害事例のデータベース化(検討中)